



# 棚田 ライステラス

第10号 1998.5.30  
(季刊・年4回発行)

発行／全国棚田(千枚田)  
連絡協議会  
編集／ふるきやらネットワーク  
〒169 東京都新宿区百人町1-23-29-202  
TEL 03-5389-9937/FAX 03-5389-9983



広島県川尻町（撮影：三谷健三）

# 早乙女

元朝日新聞編集委員・中島信吾

五十三年昔の八月。都会がすべて焼け跡だったころ、私は新潟県長岡市の郊外で、農業をしている父方の親類に疎開していた。私はまだ国民学校二年生だった。焼け付くような暑さの十四日、作家・山田風太郎は当時二十歳で『戦中派不戦日記』に「国民はどうであるか？」<講談社文庫>などと自問自答しながら、一日で一万三千文字を連ねた。しかし、敗戦当日の翌十五日には「帝国ツイニ敵ニ届ス」の九文字だった。どちらも痩せた伯父と伯母は、縁側の外にひざまづいて、聞き取りにくいラジオを聴きながら泣いていた。その意味がわからず、立ったままポカンと眺めていて、軽く、しかし厳しく叱られた。私は小さなゲートルをはいていた。伯父と伯母は、それから野良着に着替えた。笠をかぶり、緒をきりりと締め、内側にアブや蜂よけのハッカ瓶を下げて、野良を目指した。

野良は棚田と違ってどこまでもひろびろと連なり、イナゴやトンボがうようよいた。そのイナゴを集めるのが二年生の仕事だった。フナやドジョウは当たり前で、ついにはメダカまで食べた。どんなにたんぽが広くても、口に入る米はなかった。それでも早乙女は見た。あの野良着が、遠目にも美しかった。それから都会に戻り、高校二年生のとき伯父と伯母に会った。十年経った伯母は「早乙女も質が落ちた」といった。あれからまた四十三年。伯父伯母はどうにいない。棚田なら、早乙女が死語になっていないだろうか。

特集

# 全国各地で活躍中！ 地元 棚田 保存会

全国各地で、棚田保全や活用を考えたり、オーナー制度を支えたり、棚田のある集落で地域活性化をはかったり……そんな棚田保存会ともいべき、地元組織が奮闘中です。今号はエールの意味もこめて、地元棚田保存会特集です。

## 自分たちで自分たちの棚田を考えたい

今年4月5日に、会員の手づくり水車2機の落成式が行われた。「お金がなんばかかるんかわからんけど、やってみようや」とはじまつた水車。2班に分かれ、それぞれが創意工夫のもとに自分たちの水車をつくり上げた。会員は約50人。地元の農家も兼業ながら毎日水車づくりにいそしんだ。この水車で、自分たちの棚田でつくった「メをつく」。

95年、第1回棚田サミット以

来、地元農家10人で「棚田をする会」として活動してきたが、96年12月、広く呼びかけた結果発足。「考える会」と名付けたのは「考えて残すべきところは残し、転作する場合、何を植えるとよいか、生態系にどうてはど

も開いた。

「棚田米」の米袋も作成し、物展等で「棚田米」を販売中だ。

徳島県上勝町

## 石置と思う会

愛媛県内子町

地域づくり活動の一環として景観保持

石置地区の農家12人が、過疎化や高齢化が進む中、地域に元気を取り戻そうと1987年に発足した。この地区の田んぼのほとんどが棚田。農村景観を保存しようと15年放置していた棚田を復田したり、水車小屋を自分で資金を出し合って設置もし、「水車まつり」を開催する。

15年放置していた棚田はかずらがからまり、人が落ちるような穴すらも空いていたという。そのほかホタルの住める川づくりを目標に川の保全にも務める。



## 千枚田ふるさと会 高知県梼原町 オーナー制度を支える

梼原町神在居集落では92年からオーナー制度が行われている。その管理をはじめ、集落内に建てられた「千枚田カントリーハウス」の運営等を行っているのが「千枚田ふるさと会」。

「行政が提案して、集落の人々に協力していただいているんです。農家の方々のがんばりに本当に頭がさがります」と町の担当者は話す。「集落の活性化が、結果として棚田の保存にながつているようです」。



DATA

千枚田ふるさと会事務局  
高知県高岡郡梼原町梼原14  
44-1  
TEL 0889・65・1111

オーナー

31組。オーナーへは、年2回の「ふるさと

DATA  
石置を思う会  
愛媛県喜多郡内子町大字内子甲  
780 内子町役場  
TEL 0893・44・2111

# 【うきは夢醉塾】

福岡県浮羽町

地元の町おこしグループ「うきは夢醉塾」が、棚田の荒廃をくい止めようと、町役場や棚田のある集落・葛籠ととともに、イベントをしかけている。「棚田inうきは彼岸花めぐり」はそのひとつ。野外コンサートを行ったり、棚田米のポン菓子づくりの実演や空き家を利用して棚田の写真展などが開催されている。

DATA

福岡県浮羽郡浮羽町大字朝田  
TEL 09437-7-2111

「うきは夢醉塾」のメンバーが中心になって、2000年の棚田サミットの誘致を行っている。

## 【岳信太郎棚田会】

佐賀県西有田町

96年12月、西有田町岳地区の若手後継者たちが集まって、棚田を守ろう、ほんなんもん（本当のもの、純粹なもの）をつくるうと「岳信太郎棚田会」を発足。オーナー制度も導入するほか消費者と直接に契約し、耕作する産直システム等を導入した。

若手である。平均年齢44~45歳。「たまたま仲間がいて、つながっていたからですねえ」と代表の池田勝幸さんはいう。

今年は年末に、もちつき大会を思案中だ。さらにインターネットによる発信をしていくことだとだ。

岳信太郎棚田会  
佐賀県西松浦郡西有田町岳 池田勝幸（代表）TEL 0955-46-2246 石橋一也（副代表）  
TEL 0955-46-2233

## 【菅地域振興会】

熊本県矢部町

察。2年間自分たちで方法論を

練り、実行に移した。

いま、地域の小学校の運動会にもオーナー全員が参加する。小学生は10人。学校に泊まったりキャンプをしたりと地元に深くかかわったオーナー制度が展開されている。そのほか、擬似的農村体験を数々してもらおうと試みは続く。山からかずらなどつる類をとつてきてのりースづくりなども行われている。

今年は年末に、もちつき大会を思案中だ。さらにインターネットによる発信をしていくことだとだ。

菅地域振興会  
熊本県上益城郡矢部町浜町6  
矢部町役場経済課  
TEL 0967-72-1111

## 【紀和町丸山千枚田保存会】

紀和町丸山地区（33戸約60人）

に、93年8月「紀和町丸山千枚田保存会」が発足した。丸山地区だけで1034枚の棚田がある。この美しい景観を守つていこうと、町長が丸山地区に相談したことからはじまった。

保存会の活動は96年から開始しているオーナー制度の世話をはじめ、さまざまなイベントの実施などを実施している。棚田の真ん中を通る農道で約800m

もの流しそうめんを行ったり（ギネスで一番だったのが、昨年ぬかれてしまった。がまた追抜こうとしている）、町で建設した水車をつかってそば粉をつく

り、地元の交流施設で振る舞う

なども行っている。

そのほか、かかしコンテストを開催したり、棚田で赤米（古米）をつくり、それを茶粥にしてイベントで提供するなど、活動ある活動が展開している。最近、カメラマンをはじめ、大勢の人が訪れるようになり、地域はにぎわっているのだそうだ。

DATA  
助はんどう  
島根県鹿足郡柿木村大字柿木  
565-1  
TEL 08567-9-2211

## 【奥塩田棚田保存会】 岡山県佐伯町

### 県の「美しい村づくり事業」からはじまつて

98年に発足したばかり

佐伯町の奥塩田地区では、「奥塩田棚田保存会」が93年から発足している。県による「美しい村づくり事業」の一環として、棚田景観を残すために、棚田の當農条件等を整備しようと組織が結成された。

基盤整備を考えたり、都市との交流を行ったり、棚田天然米をつくりたり、地元の小学5・6年生に話を聞かせて、棚田での文化交流を行つたり、棚田天然米をつくりたり、地元の小学5・6年生に話を聞かせて、棚田で

販売していく拠点になる。  
97年、高知県橋原町や福岡県浮羽町を視察し、98年4月に、  
るミニライスセンターが集落内にできた。棚田有機無農薬米を  
で発足させた。会の名前は、あ  
る水溜（＝はんどう）が水飢饉のときも水を枯らすことなく人々を助けたところからつけた。

DATA  
奥塩田棚田保存会  
岡山県和気郡佐伯町矢田305  
佐伯町役場産業振興課  
TEL 0869-88-1101

## 【助はんどう】

島根県柿木村

97年、高知県橋原町や福岡県浮羽町を視察し、98年4月に、  
「助（たすけ）はんどう」を20名

で発足させた。会の名前は、あ  
る水溜（＝はんどう）が水飢饉のときも水を枯らすことなく人々を助けたところからつけた。

DATA  
助はんどう  
島根県鹿足郡柿木村大字柿木  
565-1  
TEL 08567-9-2211

DATA  
岳信太郎棚田会  
佐賀県西松浦郡西有田町岳 池田勝幸（代表）TEL 0955-46-2246 石橋一也（副代表）  
TEL 0955-46-2233

平均年齢44~45歳。若手メンバーによる保存会

浮羽町役場  
福岡県浮羽郡浮羽町大字朝田  
TEL 09437-7-2111

「うきは夢醉塾」のメンバーが中心になって、2000年の棚田サミットの誘致を行っている。

佐伯町の奥塩田地区では、「奥塩田棚田保存会」が93年から発足している。県による「美しい村づくり事業」の一環として、棚田景観を残すために、棚田の当農条件等を整備しようと組織が結成された。

# 【岩座神棚田保存会】

兵庫県加美町

## 山の手入れもボランティアが

数年前から集落の中で話はあつたものの、96年に結成。オーナー制度導入は97年から。10組が100mずつ耕作した。今年は20組に増やす。ここ10年で、棚田が荒廃し始めた岩座神集落。21戸全戸が保存会の会員である。50代の人たちが兼業ながらも中心になつて動いている。

第1回棚田サミットに参加して、オーナー制度の導入を検討しました。会長の木原勝美さん(73)は「オーナー制度にあ

わせて、いろいろ祭りもやっています。オーナーの人は60人ほど。それに新聞社や見物で100人ぐらいの人がここに集まつてきましたこともあります。

この集落にこんなに人が来るのははじめてです。人がよつて来ることで、活気づきました」と話す。さらに、山の手入れをしに神戸大の学生もボランティアでやってくるようになつた。

**DATA**  
岩座神棚田保存会  
兵庫県多可郡加美町豊部240  
加美町役場産業課  
TEL 0795・35・0080

# 【鞍掛山麓千枚田保存会】

愛知県鳳来町

## みんなでがんばろうという気運が生まれはじめで

「うちは、オーナー制度とかまでやつてないです。自分たちの田んぼの世話を手一杯で……」と「鞍掛山麓千枚田保存会」会長の高橋庄一さんは、遠慮がちにそう話す。97年に、第1回棚田サミットに参加した鳳来町長の自分が町でも保存をとの声掛けで結成した。

美しい棚田が山の斜面一帯に広がる四ツ谷地区34世帯のうち、18戸が保存会に加盟。耕作者にアンケートとった結果、全体で756a(7町5反)850枚中、500枚が耕作さ

れていることがわかつた。そのうちの400枚が現在も米をつくっている田んぼであるという。

いま、保存会では、人がようやく通れるような作業道をおいこを背負つて運んでいる状況を、軽トラックが通れる農道を通せないかと町に働きかけている。保存会のメンバーで、更埴市で行われた第3回棚田サミットに参加したり、三重県紀和町に視察にでかけたりした。

集落を転出した人の棚田が耕作放棄されている。イノシシが出たり、虫が、かやなどの中で越冬してしまうなど問題が生じている。「これからこの問題を考えていく必要があります。保存会は、必要があるんです。保存会は、息が長いことが大切だと思っています」。

**DATA**  
鞍掛山麓千枚田保存会  
愛知県南設楽郡鳳来町長篠字下り戻1-2  
TEL 05363・2・0511

保存会をつくることによって、みながら「先人から受け継いだ土地を自分の代ぐらいはつくりた

# 【中条村田んぼの会】

長野県中条村

## 「みのりの共和国」に参加

96年からはじまった更埴市、

中条村など4市町村による「みのりの共和国」棚田オーナー制度。中条村では、「中条村田んぼの会」が48歳~70代の農家7人で結成された。オーナーの田植えや稻刈りだけでなく、かかしづくりの指導も行う。

**DATA**  
中条村田んぼの会  
長野県上水内郡中条村大字中条2549-2  
TEL 0262・68・3001

耕地を転出した人の棚田が耕作放棄されている。イノシシが出たり、虫が、かやなどの中で越冬してしまうなど問題が生じている。「これからこの問題を考えていく必要があります。保存会は、必要があるんです。保存会は、息が長いことが大切だと思っています」。

地場産の棚田米を使つた笹だんごなどの加工事業や旅館「六夜山荘」を経営する。97年から14組の棚田オーナーを受け入れている。組合長の大日向幸夫さんは「顔の見える農業がやりたい」と10年ほど前から都会の人との交流を模索してきた。今年は地元での棚田サミットである。何かできないか考案中だ。

**DATA**  
自然大国ほその村  
新潟県東頸城郡安塚町細野1-242  
大日向幸夫  
TEL 02559・2・2797

# 【千枚田景勝保存会】

石川県輪島市

## 全国で最も早く景勝保護を行つて

1970年という早い時期から千枚田は観光資源の一つとして保護対策事業(=千枚田耕作補助金)がはじまつていて輪島市。

保存会は、耕作している地元農家9人と市がメンバーで、代はすべて棚田という細野集落が、都市と農村の交流や地域活性化を目的として90年に結成したものです。29戸全農家が一丸となつて行つてている。

地場産の棚田米を使つた笹だんごなどの加工事業や旅館「六夜山荘」を経営する。97年から14組の棚田オーナーを受け入れている。組合長の大日向幸夫さんは「顔の見える農業がやりたい」と10年ほど前から都会の人との交流を模索してきた。今年は地元での棚田サミットである。

「自然王国ほその村」は、田んぼはすべて棚田という細野集落が、都市と農村の交流や地域活性化を目的として90年に結成したものです。29戸全農家が一丸となつて行つてている。

## グリーンツーリズム的発想で

新潟県安塚町

# 【自然王国ほその村】

まだまだあります！  
棚田オーナー制度を支える  
**地元グループ**

# 奈良県明日香村 棚田ルネッサンス実行委員会

#### 96年からはじめたオーナー制度など

96年からはじめたオーナー制度など「棚田ルネッサンス」を支える実行委員会。その中の「インストラクター会」では40~70代の地元農家32人が、田植えや稲刈りの指導や世話にあたる。また「まめまめ俱楽部」では、イベントの際、休耕田に枝豆を植えてもらうことを企画している。オーナーたちは、54組。現在オーナたちで「すてきマップつくり隊」が結成され、明日香村の自然・歴史・人間・美術のMAPづくりがはじまつた。

奈良県高市郡明日香村岡55  
明日香村役場  
TEL0744・54・2001

大阪府能勢町  
長谷集落 棚田管理組合

98年4月から大阪府の「棚田府民農園」2haが能勢町長谷集落（60戸ぐらいの集落）の中につくられることになった。運営は、大阪府の遊休農地の活用を計っている（財）大阪府農とみどりの環境の整備公社が行う。「棚田府民農園」のオーナーは年2回、田植えと収穫に作業にやってくることが義務づけられている。長谷集落にはそのための管理組合が発足。広さは240区画、1区画約100m<sup>2</sup>だ。

大阪府豊能郡能勢町宿野28  
能勢町役場  
TEL0727·34·0001

# 京都府大江町 棚田農業体験ツアー実行委員会

97年から田植えなど農業体験のツアーを行ってきた。98年からは棚田オーナー制度に着手。地元農家4人、町づくりの会である「大江塾」からも「地酒をつくる会」からも行政からも参加しての実行委員会である。いま、棚田で酒米をつくって、つくり酒屋に持ち込もうと考案中!

京都府加佐郡大江町字河守285  
大江町役場  
TEL0773・56・1101

岡山県加茂川町  
千守地区営農集団組合

千守地区では、営農集団組合15戸45人が、倉敷などから一般市民に参加してもらって田植えや稲刈りなどを3年前から実行している。

岡山県御津郡加茂川町下加茂1073-1  
加茂川町役場  
TEL 08673・4・1111

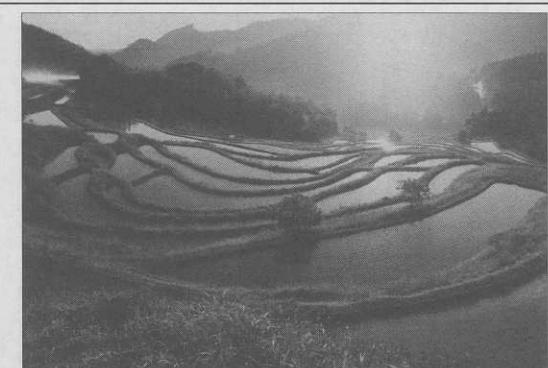
\* 今後もあなたの地域の棚田保存会や棚田も活用した地域活性化グループ等の情報を待ちしています。

更埴市姥捨地区は、松尾芭蕉が一枚一枚の棚田に映る「田毎の月」を愛でて歌を詠んだ地として有名であるゆえ、会の名「名月会」はここからきている。96年に発足した平均年齢67歳の会である。14人の会員で、市が復田した棚田3ha(120枚)、オーナー50組分の田んぼの面倒をみている。

いま名月会では、オーナーたちは交流をさらに深めようと模索中だ。景色を楽しんだり、農作業を行うだけでなく、もつと地元に関心をもつてもらおうと、いうねらいだ。夏に山頂にある

「もう農村だけでも都市だけでも  
生きていけないんです。土地や  
風景を自分だけのものだと思つ  
ていてはダメな時代なんですね」  
会長の渡辺昭次さんは話してい  
る。

**DATA**  
名用会  
長野県更埴市大字杭瀬下84  
更埴市役所農林課  
TEL 026-273-1111



97年に発足した大山千枚田保存会だが、すでに会員が102人という。1号会員と呼ばれる地元の棚田の地主さんたち25人と市内に住む千枚田を守ろうといふ農家や一般の人々（2号会員）70人と鴨川市以外の人々（3号会員）で構成されている。かねてから地域活性化の任意団体として活動している「鴨川市リフレッシュビレッジ推進協議会」が、地元大山地区の千枚田の美しさに目をつけ、地域ぐるみで活用しながら保存ができるべと発足した。

**DATA**  
大山千枚田保存会  
千葉県鴨川市横渚1-450  
鴨川市役所農林水産課内  
鴨川市リフレッシュユビレッジ  
推進協議会内  
TEL 0470・93・7834

## 【名月会】 「棚田貸します制度」の主役は名月会 長野県更埴市

【大山千枚田保存会】  
会員数100名を超す保存会

千葉県鴨川市

荒廃していた田、8畝を97年冬に復田した。4月末には、棚田市民ネットのメンバーのみなさんの力を借りて田植えをした。「リフレッシュビレッジ推進協議会」も「大山千枚田保存会もこの地区を「食の健康拠点」としてとらえ、来年度は、薬膳料理のある宿泊施設を建てる予定だ。東京から車で2時間、都市に近いだけに、都市との交流も活発化しそうである。

# 会長がかわりました

全国棚田(千枚田)連絡協議会

## 会長を交替します

今年も棚田には可憐なレンゲ  
草が咲き、新緑の息吹を感じら  
れる季節になりました。

ため池の土手の野焼きも済み、  
それぞれ農家では田の荒起こし  
など早くも田植えの準備が始ま  
りました。

私が全国棚田(千枚田)連絡協  
議会の会長に就任してから早1  
年が過ぎ、この4月からは会長  
職を長野県更埴市長の宮坂博敏  
氏にバトンタッチいたしました。

私にとりまして過去一年間は、  
生涯忘れ得ない思い出深い年に  
なるような気がいたします。

棚田保全という命題を背負つ

て、農林水産省や大蔵省など関  
係機関へ数回にわたり足を運び、  
陳情を重ね、また、中央官庁の  
若い政策立案者との議論の中で、  
経済合理性では計ることのでき  
ない棚田に対する思いをぶつけ  
合い、既成概念の大転換ともい  
える棚田保全のための所得補償  
制度に道を開く新規事業が創設  
されました。まさに感無量的心  
境であります。

しかし、棚田保全対策は、緒  
についたばかりです。棚田の持  
つ多様な公益性を国民各層にご  
理解いただくために連絡協議会  
の果たすべき役割と責任は極め

て大きく、その実践活動に寄せ  
られる期待も大なるものがあり  
ます。

次期会長をお願いする更埴市  
長の宮坂氏は、温厚篤実の中に  
厳しさも秘められ、皆様のご期  
待に添うご活躍をなさること  
と確信いたしており、私同様新  
会長へのご支援をお願い申し上  
げます。

最後になりましたが、全国の  
会員各位、ご支援いただきまし  
た農水省など国、県の関係機関  
の皆様に心より感謝申し上げ、  
退任のご挨拶といたします。

(98年4月)



長野県更埴市市長  
**宮坂 博敏 氏**

## 会長に就任します

本年度会長をお引き受けいた  
しました更埴市長の宮坂でござ  
います。

もどより微力ではございます  
が、皆様の暖かいご支援のもと、  
新たな決意と情熱を持って中山  
間地、特に棚田地域等の農業の  
活性化につなげるため専心努力  
をいたしたいと考えております。

平成7年9月、高知県梼原町  
から発信された「棚田保全」の  
輪は、いま日本全国に広がり、  
その大切さが見直されてきてお  
ります。

全対策の事業が創設され、いよ  
く國においても、棚田地域等保

本年度会長をお引き受けいた  
しました更埴市長の宮坂でござ  
います。

もどより微力ではございます  
が、皆様の暖かいご支援のもと、  
新たな決意と情熱を持って中山  
間地、特に棚田地域等の農業の  
活性化につなげるため専心努力  
をいたしたいと考えております。

平成7年9月、高知県梼原町  
から発信された「棚田保全」の  
輪は、いま日本全国に広がり、  
その大切さが見直されてきてお  
ります。

第3回全国棚田(千枚田)サ  
ミットでは、このような視点か

によ本格的な取り組みが開始さ  
れました。とりわけ、棚田地域  
水と土保全基金事業にあつては  
その推進に本会が中心となつて  
るものと思つております。

21世紀は、環境の世紀とも言  
われますが、瑞穂の国の伝統あ  
る稻作文化を代表する棚田の保  
全や中山間地農業の振興は、生  
産の場のみならず自然環境や生  
活環境の上で大変重要であり、  
後世に残していくことが私たち  
の責務と考えます。

今後は、連絡協議会の皆様の  
ご協力のもと、さらに積極的な  
運動をして参りたいと考えてお  
りますが、このライステラスの  
紙面を通じ一層のご交誼をお願  
いいたし、会長就任のご挨拶と  
させていただきます。

今年の全国棚田(千枚田)サミット  
は新潟県安塚町で開催される。日程は、  
いまのところ9月19日(土)~20日  
(日)と、土日で多くの人が参加しやす  
い日程を検討中である。

さてその内容であるが、稲刈り体験  
ツアーや地域交流会、棚田活用事例等  
発表、分科会、パネルディスカッション  
などが検討項目として上がってきて  
いる。分科会は、テーマに分かれて話  
し合われ、報告会を開く予定。

町全体の田んぼが棚田だという安塚  
町。地元の人とも全国から集まつて  
くる棚田にかかる人たちとも親密な交  
流がはかれることは間違いない！

ふるってご参加あれ！

第4回全国棚田(千枚田)サミット  
に向けて、ただいま準備進行中！

新潟県安塚町

佐賀県西有田町長  
**藤 寛 氏**



## 平成10年度から はじまつた

**Q 1** ウルグアイ・ラウンド  
(U.R.) 対策費の活用  
とのことで、3年間と聞いていますが、それ以降の継続は考え  
ていないのでしょうか。

(UR) 対策は、平成12年度（農業農村整備事業は14年度）まで実施することが決まっています。これは、UR農業合意による影響を極力小さくするための対策を緊急に実施することを目的としているからです。

しかし今後、UR農業合意の下での国内農業の状況に応じて、たとえば、UR対策の中でも必要なものは引き続き実施していくなどの検討が行われることも考えられます。

Q2 高齢化が進む中、保全は現実問題、人手不足で難しいのです。人手不足のケアに対しても保全対策は何か活用できますか。

**A 3** 棚田の保全基金に関する  
各県において基金造成のための  
基金のシステムや組織は、既に  
できているのでしょうか。

ています。これはたとえば、保全活動に参加していくと、都市住民の登録、現地指導者の育成、地域の方々に対する啓蒙普及に関する助成を行ったり、集落の協定に基づいた保全活動に対する支援を行ったりすることがで、きるもので、これを利用して、地域における保全活動の取り組みを活発化していただきたいと考えています。

「…」  
「…」

# 棚田地域等 緊急保全 対策事業

# 棚田地域 水と土保全 基金事業

検討や事務手続きの準備を行つてゐるところです。基本的には各県で現在既に実施してゐる「水と土保全基金」の運営を拡充することとなり、システムや組織も「水と土保全基金」のものを活用できると考えています。

**Q5** 今後、国土保全や景観としての価値を評価した助成などは検討されていないのでしょうか。

歴史の中で拓かれ、維持され農作業にまつわる様々な民俗文化を伝承し、我が国農山村の原風景を形成してきた貴重な歴史的・文化的遺産といえるもので

のです。したがつて、それらをどのように進めていくかは関係農家や地域住民が十分に話し合うことが第一ではないでしょうか。また国や県レベルにおいても、国民、県民の間で十分な議論をして施策の方向を決めていかなければならないと思います。

し、E.Uで実施されている条件不利地域対策のような直接所得補償措置を導入することについては、賛否両論があり、今後さらに議論・検討されることとなっていきます。

もっと  
詳しく

## 教えて下さい

農林水産省構造改善局にお聞きしました。

産が中心となっています。日本においても、中山間地域等の条件不利地域において、過疎化・高齢化の進行等により相手自体の確保が困難となるとともに、集落機能が低下しつつあり、食糧を供給し、国土環境を保全する等の農業農村の持つ機能が低下していくおそれがあることから、これらの機能が低下することのないよう、公的な支援策を講ずることが必要である。

保護審議会が文部大臣に對して、史跡等指定の答申が行われ、この中に、長野県更埴市の「姥捨（田毎の月）」が名勝指定として含まれています。これは、約25haの棚田地帯で、古くから観月の名所として喧伝されてきた所です。今回は、棚田そのものが文化財として指定されたものではありませんが、今後文化庁では棚田そのものを指定することも考えていいきたいとしています。

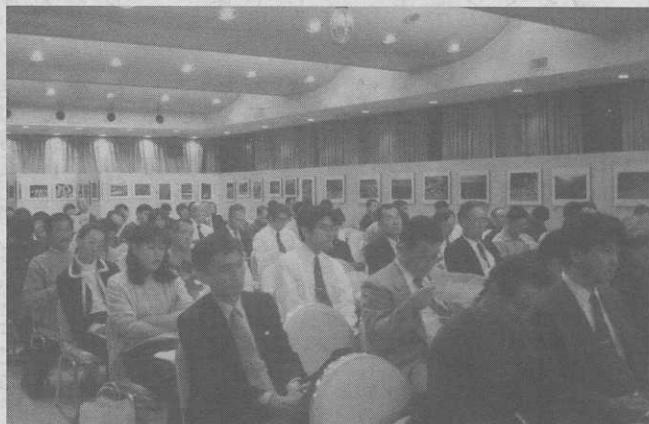
## 棚田シンポジウム開催される



棚田支援市民ネットワーク主催

# 「棚田はふるさと・都会は田舎の応援団」

～棚田、農山村、環境…に対して  
いま私たちができること～



さる3月27日（金）、東京都池袋（豊島区立勤労福祉会館）で、棚田市民ネットワークが、都市の人たちに棚田へもつと関心を高めてもらおうとシンポジウムを開催した。会場には棚田の写真パネルがぐるりと展示され、約100人が集まり、多くの質問が飛びかうなど盛り上がった。

棚田市民ネットワークは、早稲田大学の中島峰広教授を代表とした東京中心の棚田支援の市民グループである。長野県八坂村の休耕田になっていた棚田で、稻作を行う「八坂村プログラム」や、新潟県松之山町へ田植えツアーナーなどを行つてきた。

3つめは、東京のど真ん中のデパートなどで、棚田の前に立つてあるかのようだ大写真展を開こうと大仕掛けな提案が出た。都会からの発信がはじまつた。今後、一人でも多くの人が、農業に関心を抱くためにも意味のあるシンポジウムとなつた。

## 全国棚田（千枚田）連絡協議会

お申し込み・お問い合わせは、協議会事務局

長野県更埴市役所経済部農林課まで

長野県更埴市大字杭瀬下84番地

TEL 026・273・1111 FAX 026・273・1004

会員  
募集中

## 新しく会員になったみなさま

## 正会員〈自治体〉

新潟県山古志村  
佐賀県相知町

## 正会員〈団体〉

石川県土地改良事業団体連合会  
山口県土地改良事業団体連合会

## 正会員〈個人会員〉

奈良県 水谷道子

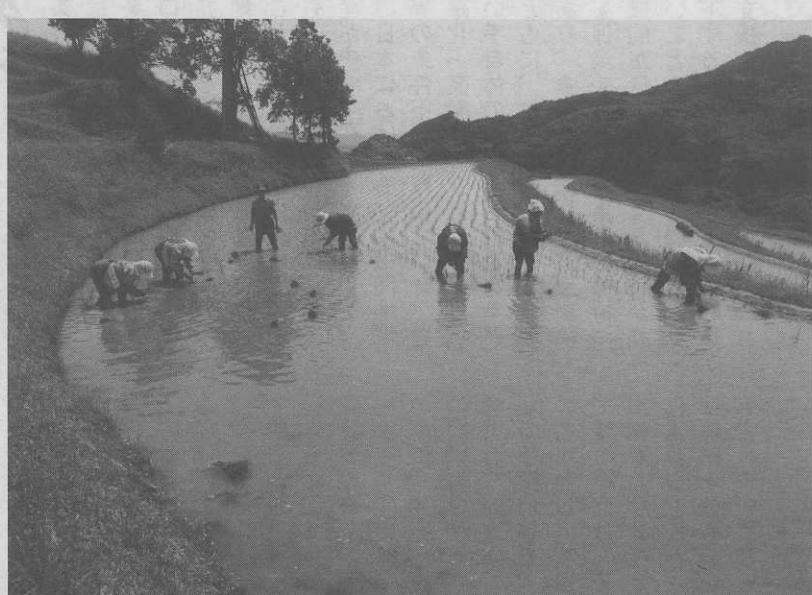
## 賛助会員

愛知県 根井かおる  
岐阜県 小塩幹雄

## 編集後記

この春、棚田オーナーに友人たちをかき集めて申し込もうと思つていました。仕事で行けなくなつても、誰かが行けるようになつてゐるかのようだ大写真展を開こうと大仕掛けな提案が出た。自分が育てたコメを食べてみたい、だけど定まつた日程に対処できない、そんな都市ぐらしの面々もが、うまく棚田にかかわる方法を考えたいと思っています。

石井里津子



千葉県鴨川市大山千枚田